

令和元年度

事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

学校法人 志學館学園

目 次

I 建学の精神	P.1
II みおしえ	P.1
III 志學館学園の概要	P.2～9
1. 各学校の基本理念等	P.2～3
(1) 志學館大学	P.2
(2) 鹿児島女子短期大学	P.2
(3) 志學館高等部・中等部	P.2～3
(4) 鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園	P.3
(5) なでしこ保育園	P.3
2. 志學館学園の沿革	P.3～4
3. 志學館学園の組織	P.5
4. 各学校等の所在地	P.5
5. 志學館学園の役員	P.6
6. 各学校の状況	P.7～9
(1) 令和元年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数	P.7
(2) 令和2年度 入学定員・入学者数	P.8
(3) 令和元年度 教職員数	P.9
IV 令和元年度 学校法人志學館学園 事業報告	P.10～26
1. 令和元年度短期事業計画の進捗状況	P.10
2. 令和元年度短期事業計画の具体的な取組内容	P.11～15
(1) 志學館大学	P.11
(2) 鹿児島女子短期大学	P.11～12
(3) 志學館高等部・中等部	P.12～13
(4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園	P.13
(5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園	P.13
(6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園	P.14
(7) なでしこ保育園	P.14
(8) 学園本部	P.15
(9) 6か年施設設備投資計画事業執行状況	P.15
3. 令和元年度設置校別事業計画達成度評価	P.16～26

V 財務の概要	P.27～34
1. 令和元年度決算の概要	P.27～28
2. 事業活動収支計算書（5か年推移）	P.29
3. 資金収支計算書（5か年推移）	P.30
4. 貸借対照表（5か年推移）	P.31
5. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分（5か年推移）	P.32
6. 学校法人会計及び用語について（解説）	P.33
7. 監査報告書	P.34

I 建学の精神

「時代に即応した堅実にして有為な人間の育成」

- 「時代に即応した」とは、情勢の変化に対応して、合理的で効果的、かつ弾力的な運用を図るべきことを意味する。
- 「堅実にして」とは、人間としての教養・徳をつけること、つまり人間としての豊かさ等を意味していると解釈する。
- 「有為な人間」とは、豊かな人間性の上に、健康な体、強い意志、創造力と企画力、集団への適応と貢献の能力、科学や情報に対する理解と技術、国際人としての教養等を身につけ、国家・社会の発展に寄与しうる人間、即ち「実用」と「教養」を実現できる総合力を身につけた人間をさすものである。

II みおしえ

雪のごとく清らかに

月のごとく明らけく

花のごとく撫子の強くやさしく

創設者満田ユイは、「建学の精神」を具体的に実践する時の心構えとして親しみやすく理解するようにと、中国の詩人、白居易の詩を引用し、それになぞらえて「みおしえ」とした。根底に「人間愛」を含んだ上で、詩にある「雪、月、花」になぞらえて、雪は「清浄と貞節」を、月は「聡明な明るさと静寂」を、花は「大和撫子を現し、日本女性の美徳とやさしさと芯の強さを現すもの」として説明した。

しかし、1986年「建学の精神」の改訂を機に、今ではその女性的な文体表現にかかわらず「清く、明るく、強く、やさしく」というその内容が人間としての在り方、人の美しい生き方を表すものとして脈々と学園に継承されている。

現在「雪、月、花」は「建学の精神」を具体的に実践する時の心根を象徴するものとして、学園章・校章・学園旗及び校旗となっている。

Ⅲ 志學館学園の概要

1. 各学校の基本理念等

(1) 志學館大学

【基本理念】

豊かな教養に裏付けられた実践力と学ぶことへの高い志を持つ人間の育成

【使命】

広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって文化の創造と社会の充実発展に寄与するため、人間と社会に対する深い関心と識見を持ち、専門的知識・技能を身につけ、社会に貢献する幅広い職業人を育成する。

【教育目的】

- 1 個性の伸長をはかり、自主的・創造的な人間を育成する。
- 2 豊かな教養とコミュニケーション能力を身につけ、常に課題意識を持ち、学ぶことの喜びを知る人間の育成に努める。
- 3 実践・臨床に重きを置いた教育を行い、また、将来を見据えたキャリア教育を組織的段階的に行う。
- 4 国際理解の教育を推進し、国際人として活躍する素地を培う。
- 5 社会に開かれた大学として、地域社会の発展と生涯学習の促進に力を注ぎ、社会人の学習意欲に応える。

(2) 鹿児島女子短期大学

【教育理念】

学園の伝統を継承しつつ、最新の知識と専門の学芸を教授研究し、創造力・実践力に富み、家庭に社会に個人の持つ可能性を具現できる高い教養と人間性豊かな女性を育成するとともに、国際的視野に立って社会の充実発展に寄与する人材の育成に努める。

【教育目標】

- 1 豊かな情操と高い教養を培い、心身ともに健康で調和のとれた人間像を目指して自己啓発を促す。
- 2 現代生活に即した専門的知識と実践的スキルを習得させ、自ら課題に対応する能力と創造性の発揚に努める。
- 3 人間関係に適切に対応し得る能力を養成し、その能力を円滑に機能させる社会性を培う。
- 4 自ら判断し行動する主体性を涵養し、家庭や職場の有為な人材の育成に努める。
- 5 国際理解の教養と態度を育成し、洗練された国際人となる素地を習得させる。

(3) 志學館高等部・中等部

【教育理念】

清新な発想のもとに「たしかな学力、ゆたかな人間性、たくましい行動力」を身につけた心身ともに健やかな人間を育成する。

【教育方針】

男女共学の進学校として学力開発と人間性開発を推進し、個性の伸張を図るとともに高い教養、豊かな情操を養い、意欲と情熱をもった自己教育力のある人間を育成する。

(4) 鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園

【教育目標】

一人ひとりの幼児の個性を伸ばし、豊かな心情や主体性・創造性を育て、心身ともに健全な人間の生きる力の基礎を培う。

【めざす幼児の姿】

げんきであかるい子 なかよくあそぶ子 よくかんがえくふうする子

(5) なでしこ保育園

【保育方針】

- 1 一人一人を大切に丁寧な保育を行い、自立した生活習慣を身につけ、健康な体、豊かな情緒、素直な表現力をもてる子どもの育成に努める。
- 2 身近な環境や自然と触れ合う中で豊かな感性を育み、創造力をふくらませ、友達との関わりの中で秩序や協調性をもてる子どもの育成に努める。

【保育の目標】

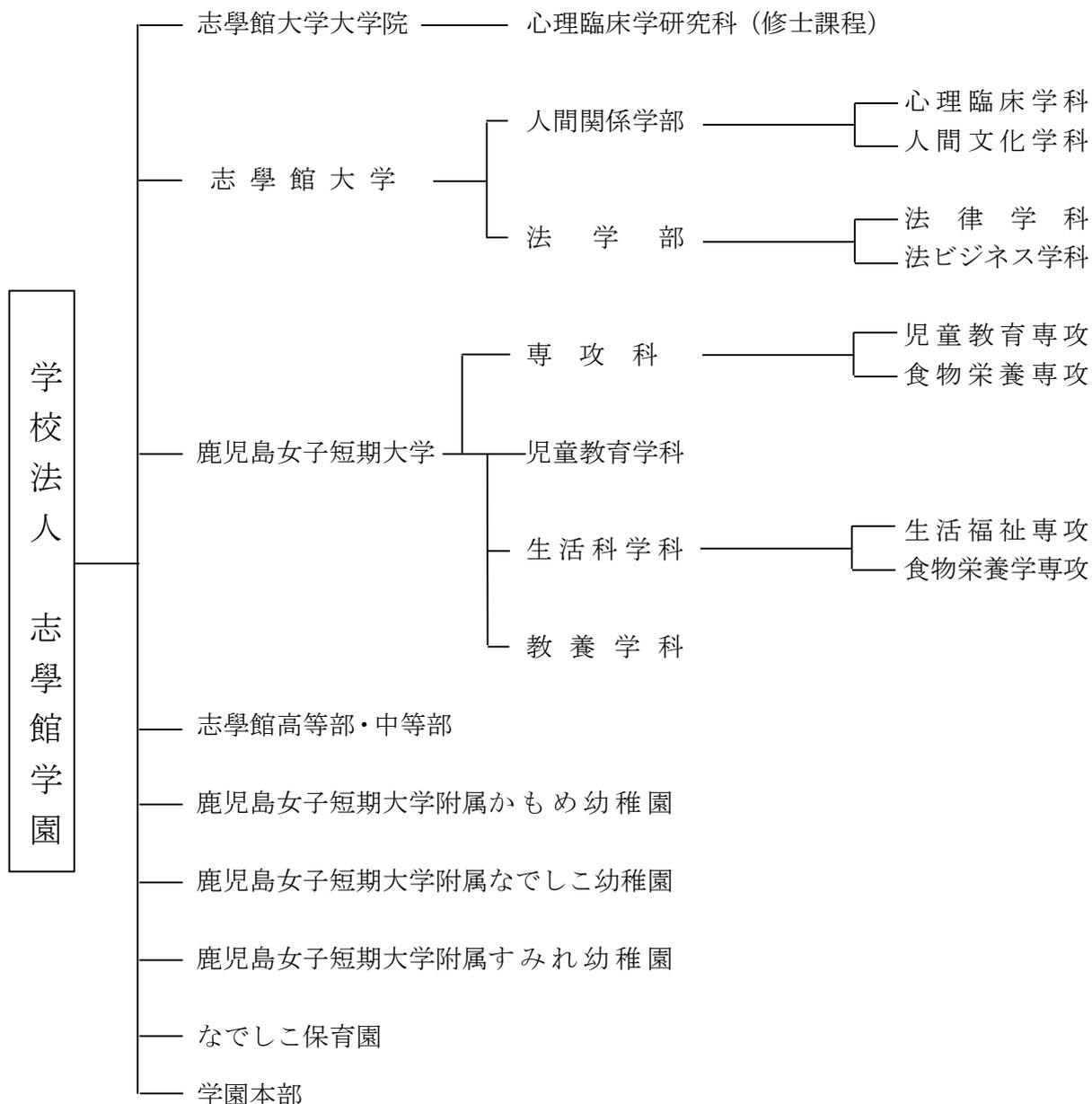
「一人一人を大切に感性豊かな子ども」の育成を目指す。

2. 志學館学園の沿革

明治40年	8月	鹿児島女子手藝伝習所開設
41年	2月	鹿児島女子技藝學校設置認可
大正15年	6月	鹿児島女子技藝學校の名称を鹿児島高等實踐女學校と改称認可
昭和23年	4月	学校教育法第1条に定める高等学校に昇格、鹿児島実践女子高等学校と改称
	4月	財団法人実践学園設立認可
26年	2月	財団法人の組織を変更し、私立学校法に定める学校法人実践学園設立認可
31年	4月	鹿児島実践女子高等学校全日制普通科開設
35年	4月	鹿児島実践学園幼稚園教員養成所開設（昭和41年3月31日廃止）
38年	5月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園設置認可
40年	1月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園を鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園と改称認可
	4月	鹿児島女子短期大学開設（幼児教育科）
41年	4月	鹿児島女子短期大学家政科開設
42年	4月	鹿児島女子短期大学教養科開設

42年	12月	鹿児島女子短期大学家政科を食物栄養学専攻、家政専攻に専攻分離認可	
43年	4月	鹿児島女子短期大学幼児教育科を児童教育科に改称	
	4月	鹿児島実践女子高等学校に食物科設置	
46年	4月	鹿児島女子短期大学児童教育科を児童教育学科とし、その専攻を初等教育学専攻、幼児教育学専攻。家政科を家政学科とし、その専攻を家政学専攻、食物栄養学専攻。教養科を教養学科とし、それぞれ学科名、専攻名を名称変更	
49年	4月	鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園開設	
50年	4月	鹿児島女子短期大学家政学科の専攻を被服学専攻、家政学専攻、食物栄養学専攻に分離変更	
54年	4月	鹿児島女子大学文学部（国文学科・英文学科・人間関係学科）開設	
58年	4月	鹿児島実践女子高等学校の校名を鹿児島女子大学附属高等学校と改称	
61年	4月	鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園開設	
62年	4月	志學館中等部開設	
63年	4月	鹿児島女子短期大学専攻科（児童教育専攻・家政専攻・食物栄養専攻・教養専攻）開設	
平成	1年	4月	鹿児島女子短期大学家政学科を生活科学科に名称変更
	2年	4月	志學館高等部開設
	4年	4月	鹿児島女子大学文学部英文学科を英語英文学科に改称
	7年	4月	鹿児島女子短期大学専攻科家政専攻を生活科学専攻に改称
11年	4月	4月	学校法人実践学園を学校法人志學館学園と改称
		4月	鹿児島女子大学を志學館大学と改称し、法学部法律学科を開設
		4月	鹿児島女子短期大学生活科学科に生活福祉専攻を開設
		4月	鹿児島女子大学附属高等学校を鹿児島学芸高等学校と改称
15年	4月	志學館大学文学部を募集停止し、人間関係学部心理臨床学科・人間文化学科を開設	
17年	4月	志學館大学大学院心理臨床学研究科（修士課程）設置	
18年	3月	鹿児島学芸高等学校廃止	
19年	4月	学校法人志學館学園 なでしこ保育園開設	
20年	4月	志學館大学法学部法ビジネス学科開設	
21年	4月	鹿児島女子短期大学を鹿児島市紫原から鹿児島市高麗町へ移転	
22年	4月	鹿児島女子短期大学児童教育学科の専攻を廃止し学科に統合	
23年	4月	志學館大学を霧島市隼人町から鹿児島市紫原へ移転	
31年	3月	鹿児島女子短期大学生活科学科生活科学専攻及び専攻科生活科学専攻を廃止	

3. 志學館学園の組織



4. 各学校等の所在地

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・志 學 館 大 学 | 鹿児島市紫原1-59-1 |
| ・鹿児島女子短期大学 | 鹿児島市高麗町6-9 |
| ・志學館高等部・中等部 | 鹿児島市南郡元町32-1 |
| ・かもめ幼稚園 | 鹿児島市紫原1丁目19-20 |
| ・なでしこ幼稚園 | 鹿児島市明和2丁目41-1 |
| ・すみれ幼稚園 | 鹿児島市皇徳寺台4丁目44-1 |
| ・なでしこ保育園 | 鹿児島市明和2丁目41-1 |
| ・学 園 本 部 | 鹿児島市高麗町5-27 |

5. 志學館学園の役員〔令和2年3月31日現在〕

*理事 7人以上9人以内 現員8人

役員名	勤務	氏名	現職
理事長	常勤	志賀 啓一	志學館学園理事長
理事	〃	志賀 壽子	志學館学園学園長
〃	〃	松岡 達郎	志學館大学学長
〃	〃	幾留 秀一	鹿児島女子短期大学学長
〃	〃	阿部 哲郎	志學館学園本部事務局長
〃	非常勤	永山 在紀	南国殖産株式会社代表取締役社長
〃	〃	吉田 健朗	株式会社南日本総合サービス代表取締役社長
〃	〃	清水 昭雄	志學館大学前学長

*監事 2人又は3人 現員2人

役員名	勤務	氏名	現職
監事	非常勤	大津 学	株式会社大津倉庫代表取締役社長
〃	〃	久永 修平	株式会社久永代表取締役社長

*評議員 17人以上19人以内（ただし、理事の2倍を超える人数）

現員 志賀 啓一 他16名

6. 各学校の状況

(1) 令和元年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数

令和元年5月1日現在

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数	収容定員	在籍者数
志 学 馆 大 学	大 学 院	人	人	人	人
	(心理臨床学研究科)	10	10	20	21
	人間関係学部	180	224	720	790
	(心理臨床学科)	130	156	516	536
	(人間文化学科)	50	68	204	254
	法 学 部	130	161	530	590
	(法 律 学 科)	70	114	286	399
	(法ビジネス学科)	60	47	244	191
	大学 計	320	395	1,270	1,401
	鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	児童教育学科	240	199	480
生活科学科		130	56	260	138
(生活福祉専攻)		30	10	60	27
(食物栄養学専攻)		100	46	200	111
教養学科		100	67	200	155
専攻科		40	1	40	1
短大 計	510	323	980	685	
志 学 馆 高 等 部		160	108	480	310
志 学 馆 中 等 部		120	100	360	268
か も め 幼 稚 園		—	—	260	234
な で し こ 幼 稚 園		—	—	240	184
す み れ 幼 稚 園		—	—	180	214
学 園 合 計		1,110	926	3,770	3,296

【附帯事業】

な で し こ 保 育 園		—	—	40	44
---------------	--	---	---	----	----

(2) 令和2年度 入学定員・入学者数

令和2年5月1日

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数
志 學 館 大 学	大学院 (心理臨床学研究科)	人 10	人 11
	人間関係学部 (心理臨床学科)	200 130	238 155
	(人間文化学科)	70	83
	法 学 部	145	181
	大学 計	355	430
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	児童教育学科	210	189
	生活科学科	80	48
	(生活福祉専攻)	20	8
	(食物栄養学専攻)	60	40
	教養学科	80	63
専攻科	40	0	
	短大 計	410	300
志 學 館 高 等 部		160	84
志 學 館 中 等 部		120	84

(3) 令和元年度 教職員数

令和元年5月1日現在

学校名	理事長	教育職員	事務職員等	合計
志 學 館 大 学		57	37	94
鹿児島女子短期大学		48	32	80
志 學 館				
高等部		26	5	31
中等部		21	6	27
小 計		47	11	58
かもめ幼稚園		15	2	17
なでしこ幼稚園		10	2	12
すみれ幼稚園		13	2	15
学 園 本 部	1		14	15
合 計	1	190	100	291
なでしこ保育園			16	16
合計 (含む保育園)	1	190	116	307

* 上記は専任教職員数

IV 令和元年度 学校法人志學館学園 事業報告

平成 28 年度を初年度とする第 3 次経営計画「志學館未来計画 2016-2021」は、各設置校及び学園本部において「基本計画」⇒「取組戦略」⇒「具体的な取組み内容」と計画から戦略へと展開し、6 か年の行動の指針となる「施策」を策定したものです。令和元年度はその 4 年目として、学園全体で 422 の事業計画を推進いたしました。

1. 令和元年度短期事業計画の進捗状況

◆ 評価結果

評価区分	S	A	B	C	D	小計	E	合計
(達成率)	100% ～	99%～ 80%	79%～ 50%	49%～ 20%	19%～ 0%	-	見直 施策	-
志學館大学	24	51	19	10	0	104	0	104
鹿児島女子短期大学	2	40	9	2	0	53	0	53
志學館高等部・中等部	6	45	3	0	0	54	0	54
かもめ幼稚園	2	18	12	0	0	32	0	32
なでしこ幼稚園	1	18	6	2	0	27	0	27
すみれ幼稚園	5	47	12	0	2	66	0	66
なでしこ保育園	0	13	5	0	0	18	0	18
学園本部	2	26	26	11	3	68	0	68
計	42	258	92	25	5	422	0	422

◆ 達成度

評価区分	S	A以上	B以上	C以上	D以上
志學館大学	23%	72%	90%	100%	100%
鹿児島女子短期大学	4%	79%	96%	100%	100%
志學館高等部・中等部	11%	94%	100%	100%	100%
かもめ幼稚園	6%	63%	100%	100%	100%
なでしこ幼稚園	4%	70%	93%	100%	100%
すみれ幼稚園	8%	79%	97%	97%	100%
なでしこ保育園	0%	72%	100%	100%	100%
学園本部	3%	41%	79%	96%	100%
計	10%	71%	93%	99%	100%

※施策を計画化し実行している「B」以上は、学園全体で 93%となりました。

2. 令和元年度短期事業計画の具体的な取組内容

(1) 志學館大学

《Ⅰ. 教育・研究活動》

- ・シラバスの ESD（持続可能な開発のための教育）科目への対応が完了
- ・地域課題に取り組む新規授業科目を 2 科目開設
- ・大学院において実習の単位認定の得点配分を数値化し指標に基づく成績判定を実施
- ・アクティブラーニングに関する FD 研修を実施
- ・コーディングを活用したディプロマ・サプリメントを卒業生に配布

《Ⅱ. 学生支援》

- ・修学支援に関する WG を開催し問題点の整理と方策を検討
- ・COC+を継承し他大学と協力の上で新コンソーシアムを形成
- ・無線 LAN 機器の更新や電子黒板導入教室の増加等による学習環境の充実化
- ・企業等からの要望と学生層の変化に合わせた新規進路支援プログラムの追加

《Ⅲ. 管理運営》

- ・各学生調査を学生ポータル上で実施し集計結果を学生生活調査報告として公表
- ・40 周年記念ホールの基本設計が完了

《Ⅳ. 学生受入》

- ・人間関係学部・法学部の募集定員の変更を申請（認可される）
- ・奄美地区・鹿屋地区で保護者との情報交換を実施

《Ⅴ. 社会貢献》

- ・「かごしま検定」講座を開講し市民にも開放
- ・日之出町依頼の「町内会加入促進モデル事業」に学生が参画
- ・40 周年記念式典・シンポジウム・祝賀会を実施

(2) 鹿児島女子短期大学

《Ⅰ. 教育・研究活動》

- ・昨年度構築した新たなカリキュラムポリシーに対応した教育課程を編成
- ・留学生の日本語教育の充実を図るため日本語演習Ⅲ・Ⅳ、日本事情Ⅰ～Ⅳの科目を開設
- ・新たに導入した学生ポータルのアンケート機能を用いて授業アンケートを実施
- ・「鹿女短の食育絵本 西郷さんと大豆の豆助」の試作品を使用し実証的な食育研究を試行
- ・一般教養科目において学生のニーズに応えた多様な言語の科目を開設

《Ⅱ. 学生支援》

- ・令和 2 年 1 月期に学生の満足度調査アンケート調査を実施
- ・修学支援新制度への対応として在学生対象者の把握とエントリー作業を実施

《Ⅲ. キャリア教育・進路支援》

- ・導入予定の新システムを用いた進路支援に関する調査を行い関係者で情報を共有

《Ⅳ. 学生受入（学生募集）》

- ・AP（アドミッション・ポリシー）と入学者との整合性を検証
- ・受験生の多様な能力を評価する新たなAO入試（専門系）を実施

《Ⅴ. 社会貢献》

- ・公開講座を本学で13講座、連携先の奄美市で2講座実施
- ・COC+活動の成果をまとめた事業報告書やポスター等で取組状況の情報を発信
- ・リカレント教育に対するニーズ調査結果を基に「郷土料理教室」「和菓子講座」を実施

《Ⅵ. 管理・運営》

- ・令和2年度運営組織について統廃合等を行い体制を効率化
- ・「経常費補助金制度」「高等教育修学支援制度の概要」等のSD研修会を実施

《Ⅶ. 施設・設備》

- ・車いす利用者のためのバリアフリー工事対象箇所を確認し対応に着手
- ・メールサーバーをマイクロソフト Office365 に移行
- ・学生ポータル「就職」機能の導入作業を実施

(3) 志學館高等部・中等部

《Ⅰ. 進学校としての教育活動の推進》

- ・「大学入学共通テスト」への対策と情報収集・校内共有を継続実施
- ・各教科でICTを活用する授業が増加し教材研究を継続実施
- ・6か年の学校行事と課題研究の体系化を推進
- ・外部教材に関する検討を推進し校内の指導に活用

《Ⅱ. 機能的な学校運営》

- ・新校務支援システムを導入し指導要録の入力等を実施
- ・生徒の出欠連絡を電子化し対応業務を効率化
- ・教職員用グループウェアを活用した情報共有を徹底

《Ⅲ. 教育環境の充実》

- ・パソコン教室に設置しているパソコン及び周辺機器のリプレースを実施
- ・8教室へ単焦点プロジェクターを設置
- ・体育館・女子寮のLED照明工事を実施

《Ⅳ. 生徒募集対策》

- ・中等部入試においてインターネット出願を導入
- ・各種SNSによる広報の実施を検討

◀V. 学園内外との連携▶

- ・卒業生によるキャリア講演会を実施

(4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園

◀I. かもめ色の幼稚園教育の充実▶

- ・遊びの中に楽器演奏を取り入れる等により教育の充実化を推進

◀II. 教職員の資質向上と人材確保の強化▶

- ・研究保育をはじめとする保育研究会等で指導案を検討
- ・各教員が積極的に学外研修へ参加、帰任後に全教員へのフィードバックを実施

◀III. 広報・募集活動の強化▶

- ・日常保育・行事・園外保育等の様子をホームページで広報
- ・「かもへいくん」オリジナルグッズ（クリアファイル・ボールペン）を製作・配布

◀IV. 設置校・地域との連携強化▶

- ・地域への子育て支援として園庭開放を実施
- ・運動会で使用した制作物を地域文化祭へ出展
- ・近隣の中学校から職場体験を受入

◀V. 運営の効率化▶

- ・園児の体験を重視した行事の改善を実施

(5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園

◀I. なでしこ色の幼稚園教育の充実▶

- ・「なでしこの森」を活用した園庭活動の充実化を推進
- ・鹿児島女子短期大学教員による楽器演奏指導会を開催

◀II. 教職員の資質向上と人材確保の強化▶

- ・主任・年次頭を中心に保育や園務分掌の進め方等の具体的な指導を実施

◀III. 広報・募集活動の強化▶

- ・未就園児クラブを年13回、園庭開放を年12回実施
- ・広報媒体の配布エリアを拡大
- ・SNS（Instagram）を活用した広報を実施

◀IV. 設置校・地域との連携強化▶

- ・志学館大学発達支援センターとの連携を推進
- ・幼小交流会等の地域コミュニティへの積極的な参加

◀V. 運営の効率化▶

- ・各行事の成果と課題をまとめ次年度の改善内容を明確化

(6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園

《Ⅰ. すみれ色の幼稚園教育の充実》

- ・自然体験活動を通して園児の主体性を引き出す保育を实践
- ・学習発表会の開催形式を改善（3部制による開催）

《Ⅱ. 教職員の資質の向上と人材確保の強化》

- ・三園合同研究会において外部講師による研修を開催

《Ⅲ. 広報・募集活動の強化》

- ・園庭開放・文庫開放を計画的に開催
- ・園内掲示板で毎月の保育活動の広報を実施
- ・「すみれちゃん」オリジナルグッズを製作・配布

《Ⅳ. 設置校・地域との連携強化》

- ・校区文化祭への参加、地域への作品展示発表、年長のダンスの発表を実施

《Ⅴ. 運営の効率化》

- ・早朝の預かり保育を実施
- ・バス運行管理システムを活用した預かり保育の受付を実施

(7) なでしこ保育園

《Ⅰ. なでしこ色の保育園教育の充実》

- ・年次に応じた担当者配置による計画的な保育を展開
- ・地域向け子育て相談会を年3回実施し延べ10家庭が参加

《Ⅱ. 教職員の資質向上と人材確保の強化》

- ・園内研修の充実とキャリアアップ研修の受講を推進
- ・高校生16名・短期大学生2名のボランティアを受入

《Ⅲ. 広報・募集活動の強化》

- ・自園給食の献立をコメント付でホームページに公開

《Ⅳ. 設置校・地域社会との連携強化》

- ・鹿児島女子短期大学開催の行事へ参加
- ・明和小学校の児童との交流会を開催
- ・明和「お達者クラブ」との交流会を開催

《Ⅴ. 運営の効率化》

- ・ICT機器を活用した情報発信・業務改善を推進

(8) 学園本部

«I. 「経営力」の強化»

- ・ 予算編成方針に則った適正な予算執行により安定した財務基盤の確立に寄与
- ・ 志学館中等部入試においてインターネット出願を稼働
- ・ 大学・短大学納金・奨学制度改定検討WGを開催
- ・ 国際交流センターを多文化共生推進会議に改称し活動を継続

«II. 「組織力」の増強»

- ・ 年次有給休暇5日取得必置化及び2時間年休制度の促進
- ・ グループウェアを活用した電子決裁を各設置校でも稼働

«III. 「連携力」の構築»

- ・ 各設置校との会議体を定期的で開催し連携を強化
- ・ 改善提案制度において5件の提案を受付、また事務職員研修会で前年度提案を共有

«IV. 「環境力」の充実»

- ・ 志学館大学40周年記念会館事業の基本設計が完了、来年度に着工予定
- ・ 志学館大学・鹿児島女子短期大学・志学館中高等部においてLED照明工事を実行
- ・ 鹿児島女子短期大学においてバリアフリー化工事を推進、来年度も継続予定

«V. 「改革力」の創出»

- ・ 学園内自動販売機の設置業者の選定（見直し）を実施
- ・ 幼児教育無償化制度の開始にかかり諸制度の整理と新様式への対応を実施

(9) 6か年施設設備投資計画事業執行状況

1. 志学館大学40周年記念会館新築事業

- サブ体育館解体（令和2年度に繰越）
- 40周年記念会館新築（基本設計まで完了、着工は令和2年度に繰越）

3. 令和元年度設置校別事業計画達成度評価

組織名称	志 學 館 大 学
------	-----------

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
I 教育・研究活動	1 「学士力(人間力)」を保证する教育	① 人間力を保証する教育	10	5	5					10
		② 教育課程・方法の検証	9	2	4	3				9
	2 皆資格・高資格を目指す教育	① 教職課程の充実	1		1					1
		② 資格センターの充実	1			1				1
		③ 新たな国家資格への対応と準備	4		3	1				4
	3 研究活動の充実	① 教員の研究活動の質向上	1	1						1
		② 地域課題解決に向けた研究活動の推進	1	1						1
	4 大学院教育の充実	① 大学院教育の充実	3	2	1					3
	5 国際交流・多様なニーズへの対応	① 国際交流文化の醸成	3		1	1	1			3
		② 留学生および社会人教育の在り方の検討	1			1				1
II 学生支援	1 学修・適応支援の強化	① 学生支援体制の充実	9	2	5	1	1			9
		② ICT活用による学生支援システムの構築	0							0
	2 学修環境の整備	① 教育環境の整備	3	1		1	1			3
		② 学生アメニティの向上	1				1			1
	3 進路支援の強化	① キャリア教育の支援と充実	1	1						1
		② 進路支援体制の充実	2	1	1					2
	4 学生生活支援	① 学生生活支援	2		1	1				2
	III 管理運営	1 大学諸制度の検証と再構築	① 学教法以下の国の制度に合致した学内制度の確立	1		1				
② 内部質保証のための制度の整備			3		3					3
③ 高大接続のあり方の検討			2	1			1			2
④ 大学諸制度の検討			2		1	1				2
2 組織力向上とガバナンスの強化		① 業務効率化	5		4	1				5
		② リスク管理とコンプライアンスの強化	2		1		1			2
3 IRの推進		① 情報集約・分析とその有効活用	2		1	1				2
		② 種々の学生調査等の実施	1		1					1
		③ 学生要望調査等のフィードバック	1		1					1
4 情報基盤の整備		① セキュリティ強化	1		1					1
		② 環境変化に対応した情報基盤のアップデート	1	1						1
5 大学資源の有効活用		① 多目的施設の整備に関する検討	2			1	1			2
		② 施設の有効利用の推進	1				1			1
6 40周年記念行事の推進		① 40周年記念行事の確実な進捗	1		1					1
IV 学生受入	1 入学定員の充足	① 広報力の強化	4		3	1				4
		② 募集活動の強化	4	2	1		1			4
	2 設置校間連携	① 志学館中等部との連携の強化	1			1				1
		② 鹿児島女子短大との連携の強化	2		2					2
	3 ステークホルダーとの連携強化	① 後援会連携	1		1					1

組織名称

志 学 館 大 学

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
V 社会貢献	1 地域貢献	① 地域協働センター活動の充実	2	1		1				2
		② 生涯学習センター活動の充実	3		3					3
		③ 心理相談センター及び発達支援センター活動の充実	2		1	1				2
		④ 地域社会への教育課程の開放	1				1			1
	2 地域に根差した大学作り	① 自治体・企業・団体等との連携	4	2	1	1				4
		② 地域課題への積極的な取組	1	1						1
	3 ステークホルダーとの連携強化	① 同窓会連携	1		1					1
		② 後援会連携	1		1					1
	計			104	24	51	19	10	0	0

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価								
				S	A	B	C	D	E	計		
I 教育・研究活動	1 「学びの質」の向上	① 「主体的な学び」の推進	5		4	1					5	
		② 学習支援・履修指導の充実	0								0	
		③ きめ細かい実習指導の実現	1		1						1	
		④ 研修の充実	1		1						1	
	2 教育課程の検証と見直し	① カリキュラム・ポリシーの検証	1	1							1	
		② 教養教育の検証	1		1						1	
	3 教育方法の検証	① 学びの可視化の検証	3			2	1				3	
		② IRの推進	0								0	
	4 地域の担い手育成教育の推進	① COC科目の充実	1		1						1	
		② 地域との連携教育の充実	1		1						1	
		③ 地域貢献活動の促進	1		1						1	
	5 グローバル化への対応	① グローバル化を意識した教育の充実	1		1						1	
		② 海外研修の充実	1		1						1	
	6 研究活動の充実	① 地域の特性を生かした研究の促進	1		1						1	
		② 学科教員による共同研究の促進	1			1					1	
	II 学生支援	1 多様な学生に対する支援の充実	① 多様な学生に対する支援の充実	3		3						3
		2 教員の「教師力」の向上	① 教員の「教師力」の向上	0								0
		3 特待生・奨学生制度の充実	① 特待生・奨学生制度の充実	1		1						1
III キャリア教育・進路支援	1 キャリア教育・支援の充実	① キャリアガイダンス	1		1						1	
		② インターンシップ	1		1						1	
	2 進路支援の充実	① 公務員、教員採用試験、進学対策の支援	0								0	
		② 資格取得支援	1		1						1	
		③ 報奨制度の検討	0								0	
④ 進路に関する調査と分析	1			1						1		
IV 学生受入（学生募集）	1 高大接続改革の動きへの適切な対応	① アドミッション・ポリシーの精緻化	1		1						1	
	2 入学定員の充足	① 外部環境の変化に対する適切かつ柔軟な対応	1			1					1	
		② 志学館大学との連携	1		1						1	
		③ マーケティングを活用した募集活動の効率化	1		1						1	
	3 広報活動の充実	① 広報活動の充実	1		1						1	
4 学生受入に対する多様なニーズへの対応	① 学生受入に対する多様なニーズへの対応	1		1						1		
V 社会貢献	1 地域貢献	① 公開講座の充実	1		1						1	
		② ボランティア活動の推進	1		1						1	
	2 地域創生・連携	① 自治体・企業・団体等との連携	1		1						1	
		② 他大学等との連携	1		1						1	
	3 各設置校との連携	① 附属幼稚園・なでしこ保育園との連携	1			1					1	
		② 志学館大学との連携	1				1				1	
	4 卒業生との連携	① 同窓会との連携	1		1						1	
		② リカレント教育の実施	1		1						1	
		③ 卒業生に対する調査と分析	1		1						1	

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
VI 管理・運営	1 政策・制度変更等への的確な対応	① 政策・制度変更等への的確な対応	1		1					1
	2 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	① 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	0							0
	3 組織体制の検証	① 組織体制の検証	1		1					1
	4 FD・SDの推進と学内研修体制の充実	① FD・SDの推進と学内研修体制の充実	1		1					1
	5 ガバナンスの充実	① 教職協働体制の推進	0							0
		② コンプライアンスの徹底	1		1					1
6 危機管理体制の充実と高度化	① 危機管理体制の充実と高度化	1		1					1	
VII 施設・設備	1 安全かつエコロジカルな機能性の高い施設・設備の整備	① 学生満足度を高めるアメニティの整備の検討	1			1				1
		② バリアフリー化の整備の推進	1		1					1
		③ 学生寮の充実	1			1				1
	2 施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	① 施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	1		1					1
	3 ICTの高度化	① ICT環境の充実	1	1						1
		② 学生・教職員のICTスキル向上	1		1					1
計			53	2	40	9	2	0	0	53

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
I 進学校としての教育活動の推進	1 教育理念・教育方針の再確認	① 教育理念・教育方針の再確認と明確化	1		1					1
		② 教職員間における教育理念と方針の共通理解	0							0
		③ 教育理念を支えるコア教科の作成	1		1					1
	2 中高一貫校の特性を活かした教育課程の実施	① これからの6ヵ年教育を見据えたカリキュラムの作成	1		1					1
		② 教育方針に基づいたシラバスの作成	3		3					3
		③ 習熟度に応じた指導体制の強化	5		5					5
		④ 高等部入学者への指導体制の改善	0							0
		⑤ 勉学と部活動のバランス最適化	0							0
	3 学力開発・人間性開発の発展	① 新学習指導要領等への対応の研究	1		1					1
		② 学校行事の整理および体系化	1		1					1
		③ LHR・SDPの在り方と一貫性のある指導の確立	0							0
		④ アクティブラーニング実施に向けての研究	3		3					3
		⑤ いじめ防止の徹底	3	1	2					3
	4 ICTを活用した教育の確立	① 教員のICTを活用した教材・授業の研究	2		2					2
		② 模試成績におけるデジタルコンテンツの活用	2		2					2
		③ 受験サプリ等外部教材の導入検討	0							0
	5 国際化に対応した教育指導体制の研究	① 留学生受入体制の組織化	0							0
		② 新テストに対応した英語の指導体制の構築	1			1				1
		③ SDP国外体験学習の研究	0							0
		④ 短期留学プログラムの研究	0							0
		⑤ ディベート・英作文指導に対応した外国人雇用の検討	0							0
	6 キャリア教育の充実	① 外部教材の活用	1		1					1
		② ライフスキル教育の導入検討	0							0
		③ インターンシップの研究	1		1					1
④ 後援会の活用		0							0	
II 機能的な学校運営	1 校務分掌の検証と役割分担の明確化	① 校務分掌の再組織化	0							0
		② 各部の校務再検討	2		2					2
	2 情報共有の徹底による業務の効率化	① 情報共有システムの活用	4		4					4
		② 各部門の情報共有の徹底	1		1					1
		③ 情報・書類などの電子化	1	1						1
	3 教職員の配置	① 教育環境充実に図るための教員増員の検討	0							0
	4 各種制度の検証と構築	① 奨学金制度の検証と構築	0							0
		② 特待生制度の検証と構築	0							0
	5 教職員研修制度の充実による教職員のスキル向上	① 研修部門の活性化	0							0
		② 教職員のスキル向上のための研修制度の充実	3		1	2				3
	6 各種評価制度の充実	① 学校評価制度の充実	0							0
		② 授業評価制度の充実	0							0
	7 学校運営に関する意識の向上	① コンプライアンスの確認と徹底	1		1					1
		② 危機管理の徹底	1		1					1
		③ 機密保持意識の浸透	0							0

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価							
				S	A	B	C	D	E	計	
Ⅲ 教育環境の充実	1 ICT機器の導入および研究	① 教育用視聴覚機器等の設置	1		1						1
		② 教職員用の電子端末導入	0								0
		③ ICTの研究部門の設立	2		2						2
	2 学内諸施設及び機器の整備	① 情報共有システムの更新	1		1						1
		② 学校施設の整備	1	1							1
		③ スクールバス運行体制の検証	1		1						1
	3 インクルーシブ教育環境の整備	① インクルーシブ教育環境の研究	0								0
		② 教員・生徒の意識向上	1		1						1
	4 職員福利厚生充実	① 職員福利厚生設備の整備	0								0
		② 職員福利厚生制度の検証	1		1						1
5 家設備の整備	① 家のアメニティの向上の検討	0								0	
Ⅳ 生徒募集対策	1 入試制度の再検討	① 高等部募集の再検討	1	1							1
	2 広報部門の見直し	① 広報部門専任者の配置	0								0
		② 学校訪問の在り方の検証と構築	0								0
	3 効果的な広報戦略の研究と実践	① 学校説明会の検証と構築	0								0
		② 生徒目線のオープンスクールの研究と実施	0								0
	4 保護者満足度の向上	① 学内情報の広報活動強化	1		1						1
② 保護者と担任・学年主任との連携強化		1		1						1	
Ⅴ 学園内外との連携	1 生徒寮生活の充実	① 寮の指導体制の検証と構築	0								0
		② チューターの配置検討	1		1						1
	2 同窓会・後援会との連携	① 同窓会・後援会との連携強化	1	1							1
		② 卒業生の人材活用	1	1							1
	3 設置校との連携	① 設置校の施設の利用促進	0								0
		② 設置校との人材交流の活発化	0								0
	4 外部機関との連携	① 県・大学との連携の研究推進	0								0
		② 塾・予備校との連携の検討	0								0
	5 地域との関係強化	① 地域への学校行事の広報活動強化	0								0
		② 地域清掃の継続実施	1		1						1
③ 体育館等の施設開放の検討		0								0	
計			54	6	45	3	0	0	0	0	54

組織名称	鹿 児 島 女 子 短 期 大 学 附 属 園 か も 女 子 幼 稚 園
------	--

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
Ⅰ かもめ色の幼稚園教育の充実	1 預かり保育の充実	① 預かり保育の充実	0							0
	2 ICT教育の充実	① ICT教育機器の導入と活用の検討	0							0
	3 就学を意識した教育の充実	① 文字習得や楽器演奏等の教育内容の充実	2		2					2
		② ニーズの合致した課外教室の開設	0							0
Ⅱ 教職員の資質向上と人材確保の強化	1 教職員の資質向上	① 若手教職員の力量形成	2		1	1				2
		② 園内外研修の充実	3			3				3
	2 教職員研修の充実	① ICT活用教育研修の充実	1			1				1
		② 接遇研修の充実	2		2					2
Ⅲ 広報・募集活動の強化	1 ICTを活用した広報の展開	① 幼稚園教育と預かり保育の複合的な効果の広報	1		1					1
		② 充実した施設の広報	1	1						1
		③ 園の保育方針の広報	2		1	1				2
	2 新たな広報戦略の検討	① ホームページ・LINE・Facebook・メディア等の媒体を活用した新たな広報戦略の検討	2		2					2
	3 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「かもへいくん」オリジナルグッズ等による募集広報活動の強化	1		1					1
Ⅳ 設置校・地域との連携強化	1 地域との連携強化	① 子育て支援などによる社会貢献の推進	2	1		1				2
		② 職場体験の継続的受け入れによる幼稚園教育普及の推進	1		1					1
	2 設置校・姉妹園との連携強化	① 附属幼稚園と短大の連携体制の検証	0							0
		② 三園合同行事・研究等の検証と構築	1		1					1
		③ 小中高等学校・短大・大学との連携強化	3		1	2				3
		④ 幼稚園教育の施策や地域・他園の情報収集の強化	1		1					1
	4 保護者・卒園生との連携強化	① 卒園生との連携強化	1		1					1
② 保護者との連携強化		1			1				1	
Ⅴ 運営の効率化	1 職場環境の充実	① 一体感のある組織風土の醸成	2		2					2
		② 複数担任制の体制構築と導入の検討	1			1				1
		③ ICTを活用した職場環境の充実	1			1				1
	2 定例化した行事の検証と構築	① 定例化した行事の検証と構築	1		1					1
計			32	2	18	12	0	0	0	32

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価							
				S	A	B	C	D	E	計	
Ⅰ なでしこ色の幼稚園教育の充実	1 課外教室教育の特色化	① 課外教室の再検証とニーズに合致した教室の開設	0							0	
	2 環境を生かした体験型教育の充実	① なでしこの森を生かした自然体験活動や行事の充実	0							0	
	3 特別支援児・2歳児へのサポート体制の確立	① 支援補助対象認定手続きサポート	1		1						1
		② 支援補助体制の検証と構築	0								0
		③ 教育相談体制の充実	0								0
4 就学を意識した教育の充実	① 文字習得や楽器演奏等の就学を意識した教育内容の編成	2		2						2	
Ⅱ 教職員の資質向上と人材確保の強化	1 教職員の資質向上	① 資質向上を目的とした教職員研修体制の構築	3		1	2					3
		② 複数担任制の体制構築と導入の検討	0								0
	2 人材確保の強化	① 優秀な教諭の人材確保	2			1	1				2
		② 新規採用教諭への指導体制のマニュアル化	1				1				1
Ⅲ 広報・募集活動の強化	1 2歳児受入の促進	① 2歳児へのサポート体制の確立と広報	2		2						2
	2 ICTを活用した幼稚園教育の情報発信	① ホームページ・LINE・Facebook等の情報媒体の活用	2		2						2
		② 広報誌・お便り・説明会の充実	1		1						1
		③ 「幼稚園教育の良さ」を発信する広報活動	1		1						1
	3 自園給食を生かした広報活動の強化	① 自園給食メニューのホームページへの掲載による広報活動	1		1						1
	4 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「モリちゃん」オリジナルグッズ等による募集広報活動の強化	1			1					1
		5 園児送迎バスの郊外運行の充実	① 送迎バス増台による路線の強化	1			1				
② ラッピングバスによる広報強化	0									0	
Ⅳ 設置校・地域との連携強化	1 附属幼稚園教育の推進	① 鹿児島女子短期大学の人材・施設・情報を連携・活用した附属幼稚園教育の推進	1		1						1
		② 附属幼稚園と鹿児島女子短期大学の連携体制の検証	0								0
	2 小中学校・地域との連携強化と地域行事への積極的参加	① 連絡会・連携研修会等への出席	2		1	1					2
		② 地域行事への積極的参加	1	1							1
3 附属三幼稚園合同研究・活動の充実	① 三園合同行事・研究等の精査選別	1		1						1	
Ⅴ 運営の効率化	1 保護者参加型の行事の検証と充実	① 共働き世帯が参加しやすい保護者行事の検討	1		1						1
	2 行事・活動の精査選別とマニュアル化	① 行事・活動の精査選別とマニュアル化	2		2						2
	3 教材・教具作成の効率化のためのマニュアル化	① 教材・教具作成の効率化のためのマニュアル化	0								0
	4 職場環境の充実	① マンパワーの充実	0								0
② ICTを活用した職場環境の充実		1		1							1
計			27	1	18	6	2	0	0	0	27

組織名称	鹿 児 島 女 子 短 期 大 学 附 属 す み れ 幼 稚 園
------	--------------------------------------

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価							
				S	A	B	C	D	E	計	
I すみれ色の幼稚園教育の充実	1 主体的学びの芽生えを育む保育の推進	① 主体的学びの芽生えを育む園児の姿の設定	1		1						1
		② 主体的学びの芽生えを育む教育課程の編成と実施	5		5						5
		③ 主体的学びを育てる保育方法の研究と実践	3		3						3
		④ 就学（小学一年生）を意識した教育の計画と実践	2	1	1						2
		⑤ 主体的学びを生かす環境の醸成	4	1	2			1			4
		⑥ 特別に支援を要する園児教育体制の充実	6	2	3	1					6
II 教職員の資質の向上と人材確保の強化	1 教職員の資質の向上	① 園内研修体制の充実	1		1						1
		② 園外研修体制の充実	3	1	1	1					3
	2 人材確保の強化	① 優秀な人材の確保	2		2						2
		② 新規採用教諭への指導体制の強化	3		3						3
III 広報・募集活動の強化	1 広報活動の強化	① 「幼稚園教育の良さ」を発信する広報活動	1		1						1
		② すみれ幼稚園の特色を生かした広報	2		1			1			2
		③ 保護者とともに成長する子供の姿の広報	2		2						2
		④ 幼稚園の見える化を意識した広報	2		2						2
		⑤ 認定手続き不要・就園奨励費補助金等の広報	1		1						1
	2 募集活動の強化	① 体験入園等による保育体験の提供	6		5	1					6
	3 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「すみれちゃん」オリジナルグッズ等による募集広報活動の強化	1		1						1
IV 設置校・地域との連携強化	1 保護者との連携	① 後援会活動の活性化	1		1						1
	2 鹿児島女子短期大学との連携	① 附属幼稚園と短大の連携体制の検証	1			1					1
		② 附属幼稚園としての職員の認識の向上	1			1					1
		③ 短大イベントへの積極的参加	1			1					1
		④ 保護者と実習生との関係強化	3			3					3
	3 地域との連携	① 未就園児クラブを活用した地域へのアプローチ	1		1						1
		② 運動会等の地域参加型活動の強化	4		4						4
V 運営の効率化	1 組織の改善	① 複数担任制の導入検討	1		1						1
		② 報告・連絡・相談の徹底	1		1						1
	2 預かり保育の改善	① 早朝預かり保育の受け入れ体制の確立	1		1						1
		② パスキャッチ導入による預かり保育体制の構築	1		1						1
	3 送迎バス運営の改善	① 他園の送迎状況の調査	1		1						1
		② 送迎エリアの見直しによる運行状況の改善	1			1					1
	4 職場環境の充実	① マンパワーの充実	1		1						1
		② 職員の職場環境の充実	1			1					1
		③ ICTを活用した職場環境の充実	1			1					1
計			66	5	47	12	0	2	0	66	

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
Ⅰ なでしこ色の保育園教育の充実	1 保育の充実と差別化	① 少人数担当保育の充実	1		1					1
		② 保育園から幼稚園への連動体制の構築	1			1				1
	2 子育て支援体制の充実	① 職員・専門員による在園保護者向けの子育て相談窓口の開設	1			1				1
		3 地域に密着した保育園教育の充実	① 地域向け子育てサロンの開設	1		1				
	② 保護者参加型の未就園児半日体験入園の開催		1		1					1
	Ⅱ 教職員の資質向上と人材確保の強化	1 教職員の資質向上	① 若年保育士の研修体制のマニュアル化	1		1				
② 学園内外研修への積極的参加			1		1					1
2 人材確保の強化		① 実習生サポート体制の充実	1			1				1
		② サマーボランティア体制の充実	1		1					1
		③ 鹿児島女子短期大学学生への説明会や見学会の実施	1		1					1
Ⅲ 広報・募集活動の強化	1 ICTを活用した情報発信の強化	① ホームページ・LINE・Facebook等の情報媒体の活用	2		2					2
	2 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「なほちゃん」オリジナルグッズ等を活用した募集広報活動の強化	1		1					1
Ⅳ 設置校・地域社会との連携強化	1 本部・設置校との連携強化	① 本部・設置校との連携強化	1			1				1
	2 地域との連携強化に向けたイベントの充実	① 保育所地域活動事業の開催	1		1					1
		② ボランティア月間の実施	1			1				1
Ⅴ 運営の効率化	1 ICTを活用した情報の共有化	① 学園ネットワーク整備による情報の共有化	1		1					1
	2 定例化した行事の検証と再構築	① 定例化した行事の検証と再構築	1		1					1
計			18	0	13	5	0	0	0	18

組織名称	学 園 本 部
------	---------

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
I 「経営力」の強化	1 定量的目標に基づく財政基盤の確立	① 事業活動収支計画の策定と実行	2	1	1					2
		② 適確な予算編成と厳格な予算執行	1		1					1
		③ 教育活動収入価格設定の検証と時宜改訂	3		3					3
		④ 外部資金増加策の検討と推進	1			1				1
	2 ICT環境整備による事務の効率化	① ネットシステム構築による事務処理の合理化	0							0
		② 学納金・寄付金納付サポートシステムの構築と稼働	1		1					1
		③ web出願システムの導入	1	1						1
	3 本部コンサルティング機能の充実	① 国際化推進体制の整備	3		1	2				3
		② 募集戦略の活性化	3			3				3
		③ 広報体制の強化	3			2		1		3
④ キャンパス・アメニティ向上への取り組み		3		3					3	
⑤ IRの有効活用		1					1		1	
II 「組織力」の増強	1 人事制度の見直し	① コース別人事制度の導入	1				1			1
		② キャリアパス導入による基準・条件を明確化	3				3			3
		③ 育成目標を明確にした計画的な人事異動の実施	1				1			1
		④ 有能なOB・OGの再雇用制度の構築	1				1			1
		⑤ ワークライフバランスの実現	3		3					3
	2 人材育成システムの構築	① 計画的な研修制度の確立	1				1			1
		② 資格取得時報奨金・自己啓発手当制度の導入	1				1			1
	3 ICT環境整備による意思決定・合意形成システムの構築	① 学園ネットワークによる通達・事務連絡システムの構築と稼働	1		1					1
		② ネット決裁システムの構築と稼働	2		1	1				2
	4 コンプライアンス意識の向上とリスク管理体制の強化	① コンプライアンス意識の更なる醸成	1			1				1
② リスク管理体制の構築と強化		3			3				3	
III 「連携力」の構築	1 企業・行政・地域社会との連携強化	① 地域創生への貢献	1			1				1
	2 卒業生・保護者との連携強化	① 同窓会・後援会との連携強化	1				1			1
	3 本部・設置校間の連携強化	① 本部・設置校間の連携強化サポート	3		3					3
	4 他校との連携強化	① 高大連携協定の締結促進	1				1			1
② 国内外日本語学校との協定支援		1			1				1	
IV 「環境力」の充実	1 教育施設の充実	① 学園施設設備投資計画の策定	3		2	1				3
		② 施設マネジメント体制の構築	2			1	1			2
		③ エコキャンパス・バリアフリー・耐震補強改修事業の推進	4		3	1				4
	2 ICT活用による学生支援システムの構築	① ポータルサイトを活用した学生向け情報揭示システムの導入	1		1					1
V 「改革力」の創出	1 新規事業による収益事業の創出	① 法人設立による外部流出コストの内生化	2		1	1				2
		② 学園オリジナルグッズ展開による認知度向上	1					1		1
		③ 所有資産を活用した収益事業の創出	1			1				1
	2 大学・短大の学部・学科の改組・新設の検討	① 地域社会に対応した学部・学科の創設検討	3			3				3
		② 通信教育部門の創設検討	1			1				1
		③ 生涯学習センターを活用した生涯教育の充実	1			1				1
	3 幼保連携の検討継続	① 幼・保施策の情報収集	2		1	1				2
計			68	2	26	26	11	3	0	68

V 財務の概要

1. 令和元年度決算の概要

事業活動収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、定量的経営判断指標について、当期の財務概況を前年度決算額と対比し、主な増減について説明する。

【事業活動収支計算書】

経常収支差額は、補助金の減少等により、前年度より△102,257千円で263,865千円となり、経常収支差額比率は7.5%（前年度比△2.6P）となった。

収入及び支出の科目詳細については、下記のとおりである。

(教育活動収支)

〔収入〕 学生生徒等納付金は、10月から始まった幼児教育無償化制度に伴い、就園奨励費補助金が学生生徒等納付金の計上となったことにより+23,854千円、寄付金は大学40周年記念事業の特別寄付金等により+16,138千円、経常費補助金は短大の定員未充足による減額強化やブランディング事業補助金の交付額減少、及び就園奨励費補助金の科目変更に伴う減少等により、△118,840千円と大幅に減少した。付随事業収入は補助活動事業収入の減少等により△6,047千円、雑収入は退職金財団交付金の増加等により+2,815千円となった。

この結果、教育活動収入の合計は△80,611千円で3,530,335千円となった。

〔支出〕 人件費は退職金の増加等により+17,470千円、教育研究経費は施設に係る修繕費の増加等により+2,430千円、管理経費はコロナウイルス感染拡大の影響に伴う広報活動等の未実施により△1,083千円となった。

この結果、教育活動支出の合計は+21,172千円で3,274,966千円となった。

これらの結果、教育活動収支差額は△101,783千円で255,369千円となった。

(教育活動外収支)

教育活動外収支差額は、収益事業収入の減少等により△474千円で8,496千円となった。

(経常収支差額)

経常収支差額は、△102,257千円で263,865千円となった。

(特別収支)

特別収支差額は、施設設備補助金の減少やLED照明設備の既存照明器具除却に伴う資産処分差額の増加等により、△72,741千円となった。

(基本金組入前当年度収支差額)

事業活動収入は△116,311千円で3,551,035千円、基本金組入前当年度収支差額は△185,780千円で191,124千円となった。

事業活動収支の財務比率に関しては、経常収支差額比率7.5%（△2.6P）、事業活動収支差額比率5.4%（△4.9P）、人件費比率58.2%（+1.8P）、教育研究経費比率27.5%（+0.7P）、管理経費比率6.6%（+0.1P）で、定量的経営判断指標はA3となった。

【資金収支計算書】 ※事業活動収支と重複する内容の科目説明は割愛。

資産売却収入は、前年度は繰越分も含め有価証券を 569,544 千円売却したが、今年度はコロナウィルス感染拡大の影響によりリーマンショック以来の株価暴落となった為、当期運用 300,000 千円の売却を保留した。

前受金収入は修学支援制度による認定者徴収猶予等により△20,446 千円、その他収入は前期末未収入金の減少等により△115,958 千円となった。

この結果、収入の部合計は△302,987 千円で 5,266,369 千円となった。

人件費支出は退職金支出の増加等により+45,926 千円、教育研究経費は施設に係る修繕費の増加等により+10,532 千円、施設・設備関係支出は大型設備投資の減少により△109,345 千円、その他の支出は前期末未払金支払支出の減少等により△99,811 千円となった。

これらの結果、翌年度繰越支払資金は+7,342 千円で 1,765,940 千円となった。

【貸借対照表】

固定資産は LED 照明設備更新工事に伴う既存照明設備の除却等により△269,911 千円、流動資産は有価証券（売却保留分）の増加等により+360,098 千円となった。

この結果、資産の部合計は+90,187 千円で 16,511,083 千円となった。

負債の部合計は借入金の返済や退職給与引当金の減少等により、△100,937 千円で 1,716,763 千円となった。

第 1 号基本金は今年度取得した施設設備に伴う組入れにより+101,102 千円となった。

学園の財産状況については、純資産が+191,124 千円で 14,794,320 千円となった。

貸借対照表の財務比率に関しては、純資産構成比率 89.6% (+0.7P)、流動比率 328.0% (+46.3P)、前受金保有率 617.4% (+108.2P)、積立率 39.2% (+3.6P) となった。

2. 事業活動収支計算書

単位：千円

		勘定科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収支	教育活動収入	学生生徒等納付金	2,435,243	2,446,020	2,440,609	2,397,134	2,420,988
		手数料	36,154	36,811	35,412	36,121	37,590
		寄付金	18,495	9,295	44,209	2,285	18,423
		経常費補助金	879,851	938,688	931,912	924,522	805,682
		付随事業収入	133,564	138,443	131,708	122,482	116,435
		雑収入	130,905	173,147	234,153	128,402	131,217
		収入計 ①	3,634,212	3,742,404	3,818,003	3,610,946	3,530,335
	教育活動支出	人件費	2,091,821	2,133,263	2,167,253	2,043,858	2,061,328
		教育研究経費	955,892	971,666	995,963	972,004	974,434
		管理経費	262,293	256,475	252,892	236,019	234,936
		徴収不能等	7,415	3,652	7,055	1,913	4,268
		支出計 ②	3,317,421	3,365,056	3,423,163	3,253,794	3,274,966
		教育活動収支差額 ①-②	316,791	377,348	394,840	357,152	255,369
	教育活動外収入	受取利息・配当金	8,031	8,123	1,520	2,519	4,411
		収益事業収入	9,917	7,163	8,781	8,945	5,813
収入計 ③		17,948	15,286	10,301	11,464	10,224	
教育活動外支出	借入金等利息	5,550	5,013	3,780	2,494	1,728	
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
	支出計 ④	5,550	5,013	3,780	2,494	1,728	
	教育活動外収支差額 ③-④	12,398	10,273	6,521	8,970	8,496	
		経常収支差額	329,189	387,621	401,361	366,122	263,865

特別収支	特別収入	資産売却差額	0	26,193	9,135	19,775	0
		現物寄付	3,852	3,469	4,366	2,934	2,523
		施設設備補助金	205,101	23,131	4,948	22,227	7,448
		過年度修正額	0	752	0	0	505
		収入計 ⑤	208,953	53,545	18,449	44,936	10,476
	特別支出	資産処分差額	57,615	31,690	378,998	31,424	78,919
		過年度修正額	4,433	11,579	0	2,730	4,298
		支出計 ⑥	62,048	43,269	378,998	34,154	83,217
	特別収支差額 ⑤-⑥	146,905	10,276	△ 360,549	10,782	△ 72,741	

経常収入 計	3,652,160	3,757,690	3,828,304	3,622,410	3,540,559
事業活動収入 計	3,861,113	3,811,235	3,846,753	3,667,346	3,551,035

基本金組入前当年度収支差額	476,094	397,897	40,812	376,904	191,124
---------------	----------------	----------------	---------------	----------------	----------------

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
財務分析	経常収支差額比率	9.0%	10.3%	10.5%	10.1%	7.5%
	事業活動収支差額比率	12.3%	10.4%	1.1%	10.3%	5.4%
	人件費比率	57.3%	56.8%	56.6%	56.4%	58.2%
	教育研究経費比率	26.2%	25.9%	26.0%	26.8%	27.5%
	管理経費比率	7.2%	6.8%	6.6%	6.5%	6.6%

3. 資金収支計算書

単位：千円

勘定科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生生徒等納付金収入	2,435,243	2,446,020	2,440,609	2,397,134	2,420,988
手数料収入	36,154	36,811	35,412	36,121	37,590
寄付金収入	18,495	9,295	44,209	2,285	18,423
補助金収入	1,084,952	961,819	936,860	946,749	813,130
資産売却収入	0	234,256	322,787	569,544	0
付随事業・収益事業収入	143,480	145,605	140,489	131,427	121,089
受取利息・配当金収入	8,031	8,124	1,520	2,519	4,410
雑収入	130,905	174,439	234,153	128,402	131,217
借入金等収入	250,000	0	0	0	0
前受金収入	439,348	432,446	412,532	395,611	375,165
その他の収入	260,231	598,302	298,471	254,047	138,089
資金収入調整勘定	△ 786,531	△ 621,847	△ 690,462	△ 552,906	△ 552,330
前年度繰越支払資金	1,230,602	808,111	1,140,954	1,258,423	1,758,598
収入の部 合計	5,250,910	5,233,381	5,317,534	5,569,356	5,266,369
人件費支出	2,117,015	2,148,579	2,194,983	2,047,661	2,093,587
教育研究経費支出	656,540	644,301	662,961	630,131	640,663
管理経費支出	215,977	205,643	197,404	189,134	186,859
借入金等利息支出	5,550	5,013	3,780	2,494	1,728
借入金等返済支出	201,320	180,000	180,000	180,000	70,000
施設関係支出	709,593	471,268	470,069	161,126	75,411
設備関係支出	177,944	140,085	111,003	140,158	116,528
資産運用支出	343,316	253,055	299,523	299,871	294,553
その他の支出	281,388	288,426	245,686	338,687	238,876
資金支出調整勘定	△ 265,843	△ 243,943	△ 306,298	△ 178,504	△ 217,776
翌年度繰越支払資金	808,110	1,140,954	1,258,423	1,758,598	1,765,940
支出の部 合計	5,250,910	5,233,381	5,317,534	5,569,356	5,266,369

【教育活動資金収支差額】

勘定科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生生徒等納付金収入	2,435,243	2,446,020	2,440,609	2,397,134	2,420,988
手数料収入	36,155	36,811	35,412	36,121	37,590
寄付金収入	18,495	9,295	44,208	2,285	18,423
経常費補助金収入	879,851	938,688	931,912	924,522	805,682
付随事業収入	133,563	138,443	131,708	122,482	115,276
雑収入	130,905	173,687	234,153	128,402	131,217
教育活動資金収入 合計	3,634,212	3,742,944	3,818,002	3,610,946	3,529,176
人件費支出	2,117,015	2,148,579	2,194,983	2,047,661	2,093,587
教育研究経費支出	656,540	644,301	662,961	630,131	640,663
管理経費支出	211,544	203,064	197,404	186,404	182,626
教育活動資金支出 合計	2,985,099	2,995,944	3,055,348	2,864,196	2,916,876
調整勘定等収支差額	△ 42,227	△ 46,467	△ 17,042	△ 44,873	△ 48,026
教育活動資金収支差額	606,886	700,533	745,612	701,877	564,274

4. 貸借対照表

単位：千円

科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
固定資産	14,953,435	14,954,706	14,588,758	14,470,197	14,200,286
有形固定資産	14,373,562	14,538,600	14,295,113	14,158,746	13,901,140
特定資産	549,814	347,749	227,751	227,753	227,754
その他の固定資産	30,059	68,357	65,894	83,698	71,392
流動資産	1,408,165	1,572,994	1,815,431	1,950,699	2,310,797
資産の部合計	16,361,600	16,527,700	16,404,189	16,420,896	16,511,083

科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
固定負債	1,634,981	1,443,935	1,219,039	1,125,141	1,009,463
流動負債	948,036	898,284	958,858	692,559	707,300
負債の部合計	2,583,017	2,342,219	2,177,897	1,817,700	1,716,763

科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
第1号基本金	17,325,388	17,721,601	17,834,846	18,089,783	18,190,885
第2号基本金	320,000	120,000	0	0	0
第3号基本金	49,835	49,835	49,835	49,835	49,835
第4号基本金	281,044	238,000	238,000	238,000	238,000
基本金の部合計	17,976,267	18,129,436	18,122,681	18,377,618	18,478,720

科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
翌年度繰越収支差額	△ 4,197,684	△ 3,943,955	△ 3,896,389	△ 3,774,422	△ 3,684,400

科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
純資産の部合計	13,778,583	14,185,481	14,226,292	14,603,196	14,794,320

負債及び純資産の部合計	16,361,600	16,527,700	16,404,189	16,420,896	16,511,083
-------------	------------	------------	------------	------------	------------

財務分析	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
純資産構成比率	84.2%	85.8%	86.7%	88.9%	89.6%
流動比率	148.5%	175.1%	189.3%	281.7%	328.0%
前受金保有率	362.8%	396.9%	427.6%	509.2%	617.4%
積立率	28.0%	29.4%	32.1%	35.6%	39.2%

※純資産構成比率＝自己資金構成比率

5 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分

志學館学園 経営判断指標判定表

令和元(2019)年度

判定	A3	A2	A2	A2	A3	
(単位:千円)						
I 教育活動資金 収支差額	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	教育活動資金収入(A)	3,634,212	3,742,944	3,818,003	3,610,945	3,529,176
	教育活動資金支出(B)	3,027,326	3,042,411	3,072,391	2,909,068	2,964,902
	C=A-B	606,886	700,533	745,612	701,877	564,274
	教育活動資金収支差額比率C/A	16.7%	18.7%	19.5%	19.4%	16.0%
判定	○	○	○	○	○	
II 運用資産と 外部負債の関係	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	運用資産(D)	1,594,052	1,716,544	1,764,000	2,014,277	2,316,172
	外部負債(E)	1,226,754	1,003,372	886,240	546,198	496,030
	F=D-E	367,298	713,172	877,760	1,468,079	1,820,142
	C>0且つF<0の時 F÷C(単位:年)	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***
III 経常収支差額	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	経常収入(G)	3,652,160	3,757,690	3,828,304	3,622,410	3,540,559
	経常収支差額(H)	329,189	387,621	401,361	366,122	263,865
	経常収支差額比率(H/G)	9.0%	10.3%	10.5%	10.1%	7.5%
判定	○	○	○	○	○	

注1) 定量的な経営判断指標は平成24年度に精緻化され、7区分から14区分へ変更になった。

注2) 新会計基準に基づき、平成27年度より下記の2点が変更となった。

【変更点】①(旧)教育研究活動CF ⇒ (新)教育活動資金収支差額

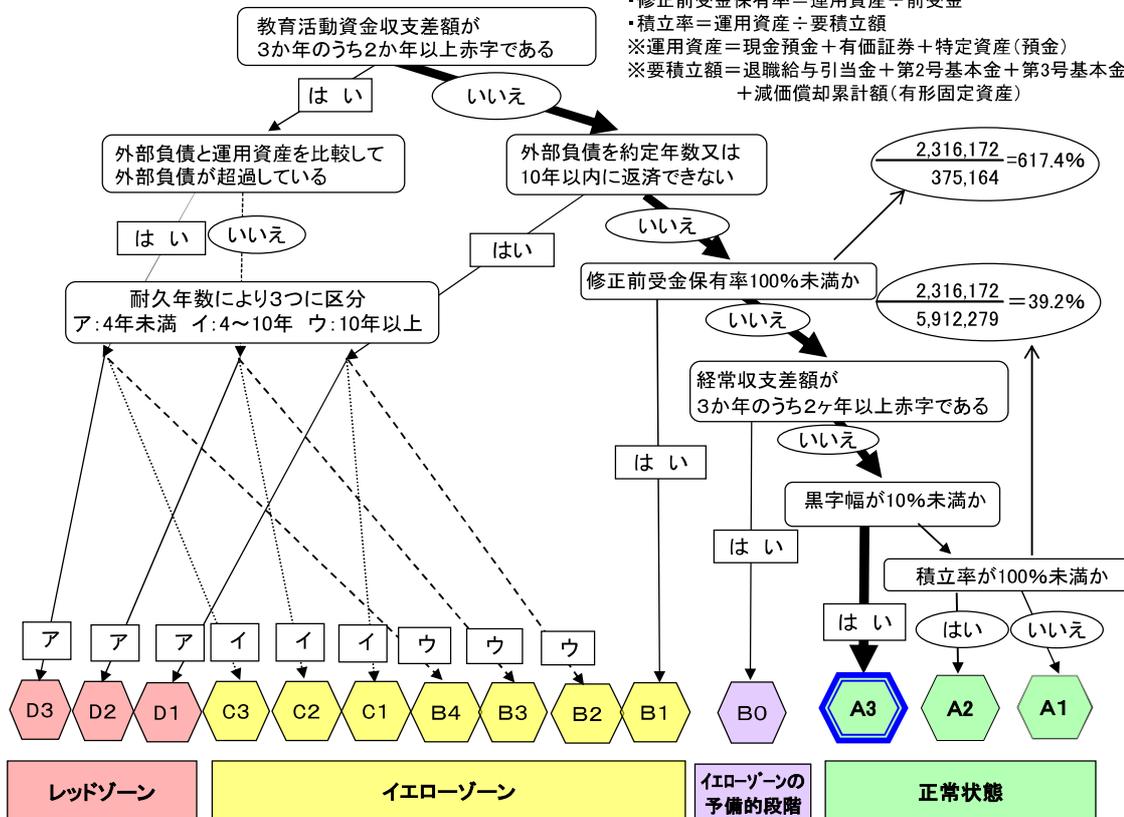
②帰属収支差額(資産売却差額、資産処分差額を除く) ⇒ 経常収支差額

・修正前受金保有率=運用資産÷前受金

・積立率=運用資産÷要積立額

※運用資産=現金預金+有価証券+特定資産(預金)

※要積立額=退職給与引当金+第2号基本金+第3号基本金
+減価償却累計額(有形固定資産)



◆ 学校法人会計 及び 用語について (解説) ◆

学校法人会計は、その事業目的において公共性が高く、企業の様に営利を追求するものではないため、企業会計とは異なる学校法人会計という会計形態をとっており、学校法人の収入は極めて制約的で、増加を図ることが難しい財政構造となっている。学校法人が事業の持続性と財政の健全性を維持していくためには、長期的な視野に立った事業計画と、それを裏付ける収支均衡の取れた財政計画が必要となる。学校法人はそれを踏まえ予算に基づいた運営をしなければならず、予算と決算の差異が重視される計算書様式となっており、学校が持続性を確保するための収支均衡状態を目指すのに適した会計制度となっている。

【資金収支計算書】

・当該会計年度（4月1日～3月31日）に行った諸活動に対する全ての収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現金預金等）の顛末を明らかにするものである。

資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に近いもので、前年度から繰り越された支払資金を基に、当年度の収支の結果、翌年度に繰り越される支払資金が確定する計算体系になっている。

【事業活動収支計算書】

・当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容と均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表す（収支バランスを捉える）ものである。資金の増減を伴わない取引（引当金、減価償却費等）は計上されるが、資本的支出（固定資産取得等）に充てる額は除いて計上する。本業である「教育活動収支」、本業外である「教育活動外収支」、臨時的な「特別収支」の3区分で収支の状況を把握し、分析することができる。

【貸借対照表】

・当該年度末（3月31日）時点での資産・負債・基本金の状況を表し、財政状況を明らかにするものである。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支状況を表す一方、貸借対照表はこれまでの財政活動における積み重ね（累積）の結果を表示する。

【経常収支差額】

・臨時的な特別収支を除く、経常的な収支バランスを表すもの。経常収支差額比率は、学校経営における利益の判断基準である。

【基本金】

・学校法人の機能を維持し、安定的かつ持続的に経営することを目指すために組み入れる。

第1号基本金・・・校地、校舎、機器備品、図書等の自己資金による固定資産の取得価額

第2号基本金・・・将来の固定資産取得に充てる為の施設設備投資額（計画的に組み入れる）

第3号基本金・・・基金として継続的に保持・運用する金額（本学園は奨学金基金）

第4号基本金・・・恒常的な支払資金に対応する運転資金額（文部科学大臣の定める額）

監査報告書

令和2年5月19日

学校法人志學館学園
理事会 御中

学校法人 志學館学園

監事 久永修平 

監事 大津学 

私たちは、私立学校法第37条第3項に基づき監査報告を行うため、学校法人志學館学園の寄附行為第15条の規定に従い、学校法人志學館学園の令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上